

べんとうの日

平成23年度
三股町立三股小学校

1 「べんとうの日」の目的

弁当作りや食事の手伝いを通して、食に関心をもち、家族を大切にす気持ちや自立した生活態度を育てる。

★ 平成22年度までの「べんとうの日」取組内容

平成22年1月	保護者からの提案で5年生のみ実施
平成22年11月	全学年
平成23年1月	全学年
平成23年3月	全学年

★ 学年別のめあて

- 1～3年生 おにぎりを作る
- 4年生 たまごやきを作る
- 5年生 おかずを1品作る
- 6年生 全部自分で作る

2 「べんとうの日」の基本的な考え方

児童が弁当作りに主体的にかかわることを通して、自らの食への関心を高め、1日に必要な栄養をバランスよく摂取すること、安全な食品を選んで食べること、自分で食事を作り規則正しく食事をとること、生命ある食材やその生産者などに感謝する気持ちをもつことなど、児童に身につけてほしい内容がたくさん詰まっています。

また、食にかかわる会話がぐえ家族間のコミュニケーションが深まるとともに、家庭においても栄養バランスなど「食」に対する意識の高まりが期待できます。

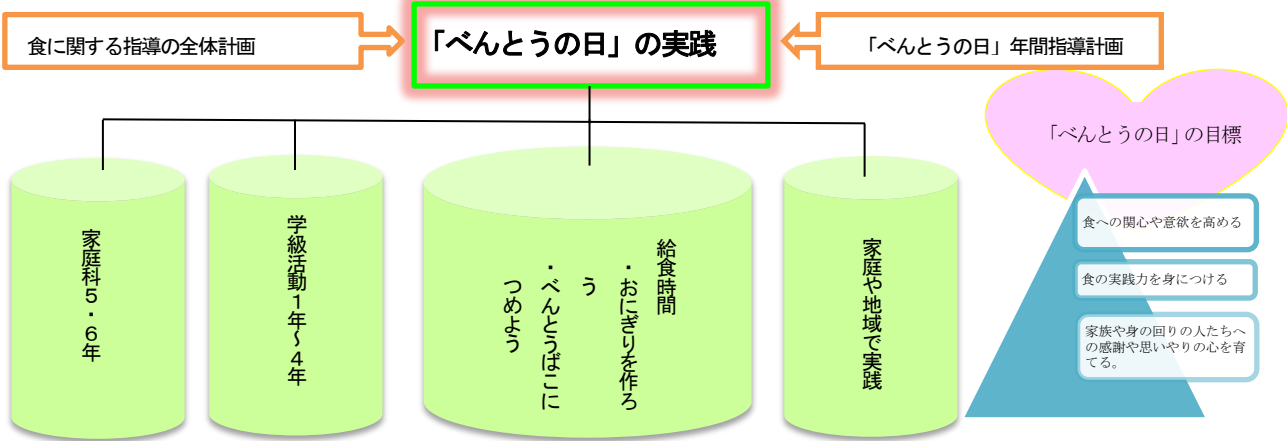
本校では、昨年度より「べんとうの日」に取り組み、少しずつではありますが成果が見られたことから、今年度も引き続き実践をします。

3 「弁当の日」全体構想

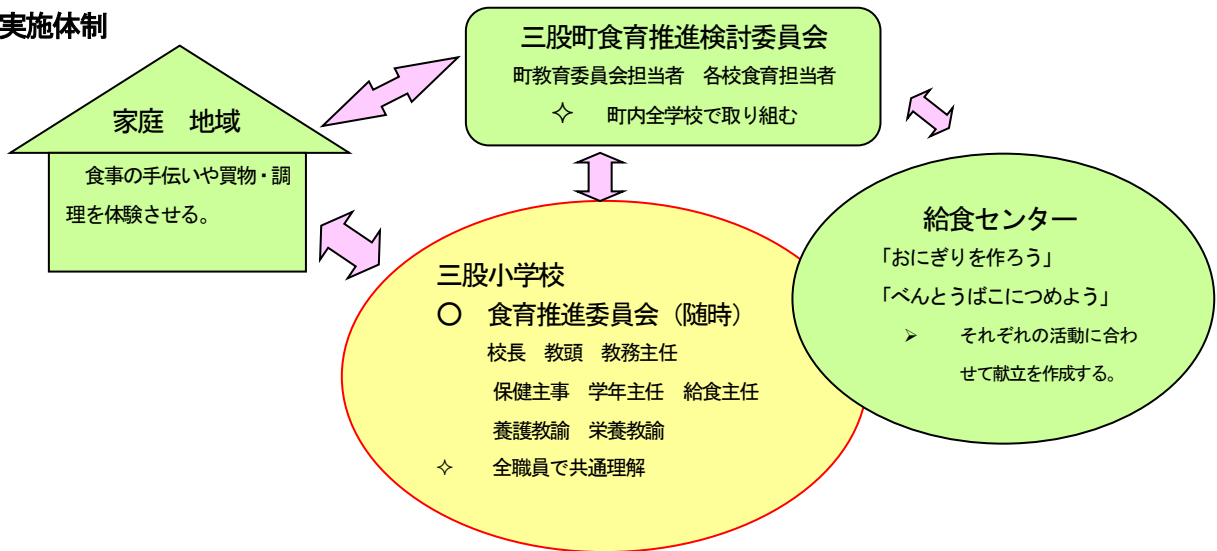
本校の教育目標
知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな実践力のある児童の育成

めざす子ども像			
みずから進んで学ぶ子ども	まじめで心豊かな子ども	たくましく健康な子ども	郷土を愛する子ども

食に関する指導の目標					
食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。	心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を身につける。	正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身につける。	食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々への感謝する心を育む。	食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身につける。	各地域の産物、食文化や食にかかる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。



4 実施体制



5 取組の実際

(1) 「べんとうの日」年間計画

	弁当の日	給食の時間		授業		家庭地域
		おにぎりを作ろう	弁当箱につめよう	家庭科	学級活動	日常生活
学年	全学年	全学年	3～6年	5・6年	4年	全学年
4月	○ 学年別こめあてを決める。	2回 (実施日) ・6月27日 ・7月11日	1回 (実施日) ・6月8日	・5年 はじめてみようクッキング		・食事の準備や片づけを手伝う。 ・親子と一緒に料理を作る。
5月						
6月						
7月						
8月				・6年 朝食を考えよう		
9月	○ 1回目 11月6日(日) 日曜参観日	2回 (実施日) ・9月26日 ・10月5日	1回 (実施日) ・10月19日	・5年 元気な毎日と食べ物	・たまごやきを作ろう	
10月						
11月						
12月						
1月	○ 2回目 1月23日(月) ○ 3回目 3月2日(金) 遠足			・6年 くふうしよう楽しい食事		
2月						
3月						

(2) 実践の概要

ア 教育課程への位置付け

「べんとうの日」を食に関する指導の全体計画に位置づけ、さらに年間指導計画を作成し、学校の教育活動の一環として、目的や計画を明確にして実施しました。

イ 指導体制の整備

町教育委員会と町内小中学校の食育担当で組織した三股町食育推進委員会で、実施の回数や内容について協議しました。決定事項をもとに、校内で組織した食育推進委員会で、実施時期や指導内容について協議し、全職員で共通理解を図りながら実践をしました。

ウ 学年別のめあての設定

児童の発達の段階に応じためあてを設定することにより、全学年で「べんとうの日」に取り組みました。児童の食に対する関心を高めるためには、低学年の時期からできるだけ多くの食にかかわる体験をすることが重要だと考えました。

エ 教科等との関連付け

「べんとうの日」と5・6年生の家庭科の「日常の食事と調理の基礎」の内容を関連付けて、弁当を作るという実践的な目標を設定して指導しています。また、1年生から4年生では、総合的な学習の時間で「さつまいも栽培」や「ひまわり栽培学習」に取り組んでいます。食の体験学習が「べんとうの日」につながるような学習内容にしています。

6 成果と課題

(1) 成果

平成22年度の2回目「べんとうの日」実施後のアンケート結果です。

「弁当の日」実施後のアンケート結果

家庭で行うようになったこと	実施後
○ 食事の準備のお手伝い	45%
○ 食事の片付け	39%
○ 料理を作る(たまごやきなど)	31%
○ 早起きをする	26%
○ 家の人との会話が增进了	32%

「べんとうの日」実施前のデータはありませんが、この結果から「食事の準備や後片付け」「家の人との会話が增进了」と答えている児童が多く、本校の「べんとうの日」の目標である「家族を大切にすゝる気持ちや自立した生活態度を育てる」に一歩近づくことができたのではないかと考えている。

(2) 課題

年に数回の「べんとうの日」が、児童の日常生活に十分生かされるようになるまで、学校と家庭の連携をさらに深めて、継続的に実施していくことが大切である。また、教職員や保護者の共通理解を十分に図る必要がある。